

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成の報告がありました。

第 4 回 中山間地域振興特別委員会記録

日 時 平成 30 年 4 月 24 日 (火)

10 時 00 分～11 時 58 分

場 所 第 4 委 員 会 室

【出席者】 飛野委員長 布施副委員長 三浦委員 西川委員 川上委員 柳楽委員
串崎委員 上野委員 岡本委員 芦谷委員 永見委員

【議長団】 川神議長

【事務局】 小川局長 新関係長

議 題

1. 今後のスケジュールについて …… 資料 1

案のとおり了承。視察については 7 月 9 日の週で、雲南市、安芸高田市を中心に調整する。津和野町視察の話もあったが、内容を上野委員が調べて、今後検討する。

2. 調査・研究テーマ「集落機能の維持対策」について

- (1) 集落機能とは …… 資料 2-1 2-2
- (2) 集落機能の維持状況 …… 資料 2-1 2-3
- (3) 集落機能の維持対策について …… 資料 3

資料 2 の浜田版のデータが残っていれば担当課から提供してもらおう。まちづくり委員会以外の各町内会の取組みが分かる資料があれば、これも担当課から提供してもらおう。

3. その他

旭町和田地区のまちづくり委員会の事務局をやっている方の話を聞く機会について、上野議員に調整をお願いする。

○次回開催 5 月 2 5 日 (金) 1 3 時から

飛野委員長

第4回中山間地域振興特別委員会を開催します。出席者は全員です。早速議題に入りますが、議長から発言の申し出があるため、最初に議長に発言をお願いします。

川神議長

皆さんには特別委員会委員として過去3回、精力的に調査研究されていることに、まずは敬意を表したいと思います。私の肝いりでこの委員会を設置し、周辺地域を含めた今後更に加速する人口減少と中山間地域の問題を、何とか議会として独自の視点で様々な政策提言も含めながら、皆さんとともに形に出していきたいということでお願いしています。ただ、委員長とも話していますが、なかなか範囲が広い、ジャンルが広い、個別課題がたくさんある、一概に周辺地域といっても各々の自治区の中では独自課題を抱えている。ですので同等に切っていくことが難しいため、どこから手を付けるかということで、委員長以下皆さんが大変お悩みであると聞いています。更には先般、執行部のプロジェクトのことも色々勉強会をされたとのことで、ある意味執行部と足並みをそろえるということも言われますが、特別委員会なので独自にこの委員の中で今後中山間地域に対してどのような戦略を打っていけるのか、一つでも二つでも政策として提言したものが地域住民のために、今後の浜田市のために良い制度になる物ができればと思っています。そういうことで、十分な研究、視察、議論を繰り返さないと一朝一夕にそういうものが出てくるわけがないので、あまり焦らず、しかしながらある程度の期間を見据えていただいて、議論もしながら具体的な政策を、委員の中で真剣に交わせることを今後も期待します。

全国的に見るとスーパーが撤退、ガソリンスタンド撤退、それをカバーするような元気の良い自治会があれば良いですが、高齢化が進んでいる当市においては難しいこともあります。いかに官民一体になって制度として進めていくかも課題だろうと思います。

いずれにせよ行政にお任せではなく、我々市民代表の議会としても、しっかり議論して、突拍子もない意見も私は結構だと思います。どうやったらここが元気で安定して、中山間地域と呼べる所にお住まいの方々の安心が担保できるのか、皆で築き上げていきたいと思っています。委員長以下皆さん方のご苦勞には敬意を表するとともに、しっかりと議論をして積み上げて行っていただきたいということをお願い申し上げて、冒頭の一言とさせていただきます。

今日は浜田港振興会が今からありますので、そちらに出かけていきますが、今日も半歩でも一歩でも前向きな意見が出ればありがたいと思っていますので、よろしくをお願いします。

飛野委員長

議長はここで退席されます。どうも心強いお話ありがとうございました。

《 議長退室 》

飛野委員長

議長からの発言もありましたが、なかなか一概にまとめの出るようなものでもありません。今日もそういう中でしっかりと自分の思い、論議をしっかりと作り、そこに新しいルールが生まれるという中で、今日は進めていきたいと考えています。よろしくをお願いします。

議題1. 今後のスケジュールについて

飛野委員長

議題1について、局長から説明をお願いします。

小川局長

前回の会議の時に、ざっくりとで良いのでスケジュール感を示して欲しいというお話がありましたので、私の方で案を作らせていただきました。

(以下、資料をもとに説明)

飛野委員長

説明がありました。毎月委員会が入っています。できれば10月に報告最終取りまとめをしていきたいというスケジュールです。これについて皆さんからご意見があればお伺いしたいと思います。

5月以降、討議となっていますが、論議ですか。

小川局長

私も今、見て気が付きました。一番上の討議を論議に直すのを忘れていましたすみません。

飛野委員長

論議ということです。論議をしていきたいということです。この件について皆さん、どうでしょうこのスケジュール。多すぎるとか足りないとか、ありましたら是非。

柳楽委員

委員会の数については良いのではないかと思います。7月に視察の予定が一応ここに書いてありますよね。会派での視察の都合もあるので、できるだけ早めに決めていただけるとありがたいのですが。もし、あるのであれば。

飛野委員長

この件についてはそうしてくるタイミングなので難しい面もあるかと思っていました。今日も資料が出ていますが、見ていると自分自身も勉強していかないといけない部分があるのではないかという所に到達してしまっていて、にわかに先進地視察をしないということも考えています。

今考えているのは案ですが、特別委員会も三つになったようで、費用面や日数の制約があります。日帰りになるのではないかと程度に考えています。先進地視察についてはその他の部分で皆さんにお諮りしたいと思っていました。

小川局長

今、話が出たので、先に話してもらって構わないと思います。

飛野委員長

そうですか。皆さんからいただいた色んなご意見の中から、日帰りで行けるような先進地を探して、行けたらと考えて、皆さんの意見を聞きつつやっていきたいと思っています。事務局はこの辺についてはどうでしょうか。

小川局長

事務局としては特にはないです。今考えているのは、一つは、島根県、中国地方というのは中山間地域対策については先進地なんだろうと思っています。そうすると県の中山間地域振興研究所もありますし、例え

ば雲南など先進地でやっていますので、その辺を中心にもし行けたら一か所と、あとはこの前広島の前上下町の辺の話も出ていましたが、その辺で皆さんから希望があれば一か所くらい入れて、ぐるっと回って2ヶ所くらい話を聞いて帰ってこれれば一日で済ませたいと思っていますが、希望があれば聞いておきたいと。相手があるので相手の日程を聞かないと決まりませんので。

布施副委員長

今、柳楽委員が言われたのは、福祉環境委員会は7月初旬に委員会視察があって、その後に会派視察を計画するのに、日帰りだろうが一泊二日だろうが、7月中旬以降のこの辺りで皆さんどうですかということをお願いしていた方が、後々スケジュールがつけやすいという意味合いで言われたと思うんです。委員長、皆さんの意見を聞いて。

飛野委員長

視察について皆さんのご意見を伺いたいと思います。ご意見のある方は。

岡本委員

7月の中のここは駄目だという日を教えてもらった方が良い。

飛野委員長

なるほど、そうですね。

布施副委員長

7月16日から20日の週とか。

岡本委員

福祉環境だと言っただろう。

布施副委員長

福祉環境は4、5、6。

柳楽委員

1週目です。

布施副委員長

産業建設はもうやりました。総務文教の視察は。

西川委員

聞いてないです。

飛野委員長

では先にこちらが決めましょう。

(以下、自由協議)

飛野委員長

9日から13日の週でどうかというお話ですが、皆さんのご都合はいかがですか。

(「大丈夫です」という声あり)

では7月9日から13日の間で、相手もございますが交渉していきたいと思います。それでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

ではそのようにします。特にここで希望されるというか、提案があればお伺いしたいと思います。どうでしょうか。

岡本委員

先ほど局長が言われた、雲南に少し興味があります。あそこは5町村でしたか、我々とよく似ている。特に教育はすごく取り組んでいるので、あそこは入れていただきたいと思います。

飛野委員長

他に。

布施副委員長

日帰りだった場合は一つか二つくらいですよ。

小川局長

日帰りだったら二か所でしょうね。それも朝出て午前中に雲南で話を聞いて、昼から移動してもう一か所聞いてぐるっと回って帰ってくるくらいかなと、大雑把に思っています。

岡本委員
小川局長
岡本委員
小川局長

日帰りじゃないと駄目なんですか。
予算の関係で。
予算ないんですか。

ぶっちゃけた話をしますと、特別委員会の予算はうちのマイクロバスを借りて行ってこれる所というルールがあるので、マイクロバス借りると宿泊代と日当だけで済むので、その予算は組んであるんですが、実は特別委員会の予算は今まで二つ分しか組んでないのです。新しくできたこの委員会は実は予算措置していないため、全体の旅費の中でみるしかないなので、できるだけ抑えたいという都合で、日帰りを提案させていただきました。

芦谷委員
小川局長
芦谷委員

その場合2が3だから補正する手一つ。駄目ならそうするしかないし、もう1点、旧上下町というのはテーマは何だったかな。
ガソリンスタンド……スタンドの話だったかと思いますが。
それも良いし、今思ったのは安芸高田市もよく挙げられるので、その辺も候補にしておいてください。

小川局長

雲南は、あそこを会長市にして全国小規模多機能自治ネットワークみたいなものを実際に組んでいて、県内、うちも入っていますが、メンバーに入っているという形でしかないと思っています。この前も県議長会が雲南であったので正副議長と一緒に行った時、雲南の速水市長が出て来てその話を一生懸命頑張っていますと言われたので、それも含めて雲南は一度来ておくべきだとつくづく思ったので、雲南は1個入れたい。

上野委員

もう1個をどこにするか。今言われたように安芸高田。他にも希望があれば当たってみて。同じ日に先方の都合がつくかどうかもあるので。
先ほどから給油所、スタンドのことが随分話に出ました。津和野の方でそのことを大変先進的に色んな事を取り入れてやっておられる地域があります。雲南方面とは真反対なので今度何かの機会であちらに寄れば。

小川局長
上野委員
小川局長
上野委員
小川局長

津和野はわくわく農業法人とか色々作って、冬場とかお年寄りのガソリンや灯油とか、農業用の石油なんかを配達したりしておられる地域があります。

それは地域でやっておられるんですね。
地域でやっておられます。
津和野町が何か補助しているとか……。

津和野のまだちょっと山奥だと思います。それも含めて。

予算は何とかするので。日帰りなら日当だけで済むので、1回2回行かれても別に良いと思います。

西川委員

津和野とは反対ですが、2班に分かれて行くのはどうですか。後で報告しあえば別に全員で行かなくても。

小川局長

皆さんの中で分けて行くことの合意ができれば、全然構わないと思いますが。

飛野委員長

テーマによって分けてやったら、効率良くできることは確かです。

小川局長

同じ所を見て、そこについて皆で議論する。報告を聞いてではなく、皆で実際に見てそれについて議論を深めていくという部分を今までの形でやると、ずっとやってきているので、それが良いか悪いかは判断できませんが、皆さんの合意があればできないことはないと思います。

西川委員

例えばすごく重要な、原発ができるとかを皆で見に行くとか、そういう案件であれば皆で良いと思うんですが、細かい案件であれば2班に分かれて行った後で報告し合うのも、なくはないと思います。例えばマイクロバスが1台しかなくて行けないというなら別ですが、検討の余地があるのではないかと思います。

飛野委員長

結局、今の話は予算云々の中から出てきているんですかね。

小川局長

気にされなくて良いです。言いましたけど、一応事務局としては予算枠は取ってありませんということでは言いましたが……。

飛野委員長

予算の話をしたら非常に寂しい感じがして。新しい委員会なので、逆に言えば予算をいただくよう私も頑張らないといけな。一泊であれば今おっしゃっている所が全部カバーできて云々であれば、それなりに働きかける所もあると私は思っています。

これももう少し日にちがあります。皆さんが候補地をいくつか挙げられましたが、分かれて行くことも含めてもうちょっと時間をかけて検討してみたいと思いますがいかがでしょうか。

小川局長

2班に分かれて行くかどうかだけは、ちょっと決めておいてもらった方が良くと思います。

岡本委員

2班に分かれて行くかどうかは疑問。打合せして行くわけだから、バラバラに違うものを見て意見がまとまるのか。中の意見をまとめようと思ったら二手に分かれるのは、私個人は賛成しかねます。同じ方向で見たいかといけな。

飛野委員長

他に。

川上委員

なるべくたくさんの方で見た方が良いので、2ヶ所を2回に分けて行くのが良いと思います。

飛野委員長

他に意見は。皆で行けたら行けたに越したことない。効率良くという意味で西川委員の発言があったと私は思いますが、その辺どうでしょう。

西川委員

私の意見は先ほどのとおりです。

飛野委員長

ということになると、同じ目で見るということで、場合によっては1回を2回にということ考えていくという所よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

相手もありますので、この辺については今の皆さんのご意見も踏まえて交渉して、次の機会にいくらか報告していきたいと思います。日程については先ほどのとおりです。とりあえずあのタイミングですということだけ決めておきます。

柳楽委員

雲南はぜひ行きたいと思ってるんですが、何の部分を視察するのかという所で。私は雲南に福祉関係のことで視察に行かせていただいたりして、あれもすごく中山間地域も含めて大事なことがあったりするので。

岡本委員
柳楽委員
岡本委員

ただ限られた時間にあれもこれも話を聞くことはできないと思うので。
雲南の目的ですか。

そうです。どの部分で視察……。

私の方の情報では、雲南は若者が都会に出て行ったりしているんだけど、Uターンしつつあるそうです。そういう成功事例が何点も挙がっていると聞いているので、中山間地域の色々な問題の中でも、若者がどうなるのかの話について、私は雲南に興味あるわけです。地域で育った子が都会に行っても帰ってくる、大きなポイントがあるのだらうと思って。私は雲南に対してそういう見方をしています。

柳楽委員

今のお話は、Uターンと、Iターンの人も含めた話なんだと思うんです。多分、雲南塾というのをされていることに関連して、そういう状況が生まれてきているかと思うんですが、その辺りも含んだ話ということですか。

岡本委員

逆に招待絞りとというわけに行かないんだらうと思う。ここへ行けばある程度自分たちの活動を大雑把に言われて、その中から絞って、このことについてはどういう対応をされているのか、という聞き方しかないだらうと。

飛野委員長

色々話が出ていますが、手探りの状況なので、先進地視察の話についてはその他でやりたいと考えていました。なぜかと言うと、その前に色々な論議をされたらそこでテーマなり何なり出てくるだらうと。それだったらここに行こうかという流れで考えていたわけですが、先に先進地の議論になったので。だからこの辺の課題というものを、我々がまだ手探り状態なので、絞り込みはまだできないと思っています。だから並行して今からその部分を擦り合わせていくことしかできないと思っています。でもやはり先進地視察というのは大切なので、7月にはやりたいと考えています。その方向で進めさせていただいてよろしいでしょうか。
(「はい」という声あり)

ありがとうございます。では日程については先ほど言いました、9日から13日の週、雲南市をメインとしてあとは当面考えていく。場合によっては2回もあるということで、視察については取り計らっていきたいと思います。よろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

議題2. 調査・研究テーマ「集落機能の維持対策」について

- (1) 集落機能とは
- (2) 集落機能の維持状況
- (3) 集落機能の維持対策について

飛野委員長
小川局長
飛野委員長

議題2(1)に入っていきます。事務局から。

(以下、資料をもとに説明)

説明がありました。集落機能は三つ挙げられる、その三つのうちどれ一つが欠けても成り立っていかない。この資料は全国的なため島根県浜

田市の部分ではありませんが、概要は十分理解していただけるかと思
います。三つの内容どれが欠けても駄目だということを頭に置きながら、
今後やっていけたらと考えています。

小川局長
飛野委員長
小川局長
飛野委員長

質問は最後に受けたいと思います。(2)について説明をお願いします。

(以下、資料をもとに説明)

続いて(3)について。

(以下、資料をもとに説明)

ありがとうございました、詳しい資料でした。事前にお配りして腹入
れしていただこうと思っておりますが、実際に見てみるとなかなか腹入れ
が難しい部分があったかと思っております。こういうことを肝にしながら、
今から絞り込んでいかなければいけない。

全国平均の数値が出ていましたが、大いに参考になってくるのではない
かと考えています。これからの進め方として、前回皆さんから提出し
ていただいたものを、事務局にまとめていただきました。前に事務局か
らメールがあったように、集落機能の維持対策として17項目が出てい
ます。その資料は手元にありますでしょうか。その中でメールにあった
ように、17番のうちの

2. 地域文化の継承
3. 地域の受け皿の希薄化
4. 寺社仏閣の荒廃
7. 人手不足
8. 現実に沿った地域設定
9. 集落の再編

こういう所を今回絞って、この項目ごとに皆さんに論議をしていただ
きたいと考えています。

小川局長
飛野委員長

先ほど西川委員から質問があったような。

申し訳ない。資料の説明がありました。その内容について質疑のある
方は。

西川委員

今回は集落機能の維持対策ということでテーマを進めていく中で、非
常に分かりやすい資料だと思います。ただこれ、全国7万5662集落を
対象にされた資料で、中山間地域の問題も各地域に独特のものがある
と思います。これだけ見ても全国的な傾向は分かりますが、浜田市にお
ける分析には、これだけではちょっと難しいと思います。中四国で1万
3772集落に分かれてデータを集められていますので、多分浜田市の公
民館単位のものより細かいのではないかと思います。それがどのよう
な集落単位で、元データが引っ張って来れるならそれを元に集落とい
うのがどういう定義で考えられているか、今後議論していく上でそれが重
要ではないかと思っております。この元データはどこから入手できるのかど
うか教えてください。

小川局長

現況把握調査で、27年度の調査で28年9月にまとめられているので、
2年くらい前のデータです。あるかどうか聞いてはみます。この時の調

査のものがあればそのまま、調査回答したのがどういう数字なのかが出てくると思うので。

西川委員

更に、私には基礎集落や一般集落のイメージがピンと来ないので、その調査はどのような集落単位で、実際にマップ上でこういう仕分けで調査されていて、例えばこういう単位が基幹集落でというイメージも持ちたいので、そういうデータがもしあれば参考に、皆さんもそれを元に集落という概念を揃えてから議論を進めた方が良いのではないかと思いますので、データを探していただきたいと思います。

小川局長

はい。

飛野委員長

この辺についてどうでしょう。国交省のデータと県の中山間地云々のデータもあったかと思いますが。浜田市のデータがやはり一番身近。これについて一応そういう部分のデータのもとで論議していく必要があるのではないかという話が出ましたが。

串崎委員

条件不利地域という文言がありますよね。この条件不利地域という所が、浜田市のどこを指しているのか。私らが住んでいる所はどこがあるかなとか。定義というか、その辺が欲しい感じがします。

小川局長

実を言うと、資料の1 ページ目に書いてあります。条件不利地域は過疎市町村、山村振興の市町村。いわゆる浜田市全部です。全部が条件不利地域という捉え方で調査しています。

飛野委員長

あと、山間地と中山間地という言葉も出てきますよね。

小川局長

ですね、中間地、山間地が出てきます。

飛野委員長

そういった場合、郡部においては8割は山間地になると思うんですよね。その話もあって、その部分は研究していかないといけない部分かなと思います。

川上委員

私が住んでいる雲城地区は、約2年前に全町内会を対象に、18歳以上にアンケートを取っています。その時に非常に面白い結果が出ています。そういうのも見ていただいたら、少しは地域の状況が見えるのかなと。1回ご覧になっては。小規模、高齢化する集落の将来を考えると、いう趣旨ですが、たまたま私どもは、ほぼこれに近い形でやっていますので。将来の自分たちの所まで意識して、自分らの地域の問題点や、こうやったら良いのにといい形でやっているので、資料として1回ご覧になったらと思います。これはあくまで私の地域でやっているから提案するわけです。

飛野委員長

今おっしゃったのは、前に課題提出をお願いした時に出していただいたものですね。

川上委員

はい、ただしほんの一部です。

飛野委員長

そうですか。それはまた、資料としていただくことができますか。

川上委員

はい。見て参考にさせていただきたい。

飛野委員長

他にそういうことをされている地域もあるかと思いますが、そういうのも大切なデータだと思いますので、検討してまいりたいと思います。先ほど資料説明がありました中での質問等は、どうでしょう。この後、

皆さんに論議していただきたいと考えています。資料説明についてはよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

1時間ほど経ちましたので、ここで5分ほど休憩したいと思います。その後、項目に分けてご意見をいただいきたいと思います。

[11時05分 休憩]

[11時10分 再開]

飛野委員長

会議を再開します。休憩中にも非常に建設的な意見が出ました。とりあえず論議に入る前に、もう一度確認しておきたいことがあります。

先ほど言った17項目に絞っていましたが、その中でも集中して、とりあえず切り口として入っていこうという項目を七つ示させていただきました。しかしながらこれは一方的な進め方もあったように思います。ここで皆さんに、七つに絞った項目について何か意見があれば発言を願いたいと思います。

西川委員

2、3、4、7については先ほど事務局から配っていただいた資料2-2の「集落機能の分類」の中の、「生活扶助機能」に入るものではないかと思えます。8、9については行政区の再編とか移転とかいう問題で、配っていただいた資料3の中の12ページ、取り組みのパターンが三つあります。相互扶助は1の話。8、9はこちらのパターン2や3の話で、ちょっと色が違うのではないかと思います。2、3、4、7については、集落機能の分類を昨日初めて見たんですが、生活扶助機能という分類に入るの、こういう区別でやるのも良いのではと思います。

飛野委員長
三浦委員

他に。

ピックアップしていただいた2、3、4、7、8、9を分別してみました。人手不足や関係の希薄化というのは、今起きている現象の大きな部分であって、大きな部分の細かい現象一つ一つを見ていった時に、祭りが継承できないとか、神社仏閣が人手不足によって荒廃しているとか、葬儀ができない、草刈りができないといった小さな現象が起きている。

それは一体なぜかというのを考えた時に、そもそも集落が持っていた役割が果たせなくなっているからそういう現象が起きているという課題が出て来て、集落がそもそも担っていた役割が果たせていない、というのが課題だと思うんです。その課題に対して、集落を再編するとか、だから8や9の話になってくるんですけど、ここは手法論の話になってくると思うんです。そうした時に、2、3、7、8の部分の、現象として本当に日常的な、我々の課題としてこれをどうするんだと、目の前の課題を議論していくのと、集落再編とかいう大きな部分での仕組みを考えていくというのは、少し議論のステージが違うのかなと思いました。

なので、エリア的な区割りをすると、機能をどうするかという、役割の話と、区割りと役割も混在しているような印象を受けたものですか

飛野委員長

ら、そこで一旦共通認識を持った上で議論に入っていった方が、良い意見の出し合いができる、まとめやすくなるのではないかと思います。

その他。ご二人の意見は本当に真っ当な意見と受け止めています。その中で冒頭にも申し上げたと思いますが、手探りの状況でスタートしています。今おっしゃったご意見があったようなことに結び付けていくためにも、まず、例えば先ほど項目を挙げましたが、そういう所で皆さんからご意見・論議をいただいて、その部分からそういう所へ結果的に結び付けていくという形を考えていけたらと思っています。初めにそういう形を決めつけるのではなく、六つの項目についてどんどん論議する中で何かが出てくると私は信じています。そこで2回3回と重ねるうちにご意見いただいた部分に向けていく。逆ではないかという論法もあるかと思いますが、まず私も含め皆さんに勉強していただきたいと思っています。

川上委員

私はこの間から中山間地の委員会があることを家で話していました。嫁さん曰く「あの家の人はお婆さんは歳だし、子どもも帰ってこないし、家が減るね。この2、3年でまた人が減るね。」ということでした。そういうことで、普段気にしていない人が気にしてくるんだと思います。集落が維持できなくなるとか。やはり問題は集落の人たちが何を今問題にしているかが見えているかどうかだと思うので、そこへもう一度立ち返ってやる必要があるのではないかと私は思います。何か小さいことを言いましたかね。

飛野委員長
芦谷委員

いえ、その点は原点と考えています。

雲城の例もありましたが、市でやっているまちづくり推進委員会と交付金と、場合によってはアンケートや健康づくり等が進んでいる所と、全く進んでない所があると思うんです。公民館単位とまちづくり推進委員会で大枠でくくって、それにぶら下がっている町内会の状況を整理して、全体としてどの地域はどう進んでいるか、浜田市の全体の状況を市のプロジェクトチームが調べていると思うので、そこから資料を提供していただいて、今のまちづくり推進委員会、公民館も含めて、どこでどういうことをしているかを少し整理をしないと。ここで空中戦をやっても仕方ないので。今日の資料のようなものの浜田市版を、実際の活動面とか、恐らく市に言えばまとめてあるはずなので、そういうのが分かれば議論もだいぶ進むと思いますが。

飛野委員長
川上委員

浜田市版というのは可能でしょうか。

そのことに関しては元々新開さんがおられましたので、いづらか分かります。浜田市の中にはまちづくり推進委員会というのが一杯ありますが、旧郡部においては全てできています。ただし旧浜田市においては15推進委員会があって、残り113町内は単独町内としてくくっています。これは実際の数字です。そういうのを見ると納得できる所が見えてくると思います。ただしどういう活動をしているかについては全部コピーしないと見えないので。この間かなり出してもらいましたが、な

かなか難しい所かなと思います。旧態依然として活動をそのまま継続している所もあれば、新しく三階のように形を変えているのか、見えてくるので。各々差があるので、この差を再度認識するのが大事かと思います。

布施副委員長

多分、各町内でまちづくり推進委員会に入っている町内、交付金の交付、それに対して問題解決に取り組んでいるまちづくり推進委員会。まちづくり推進委員会に入らない町内でも自分たち独自で問題意識を持って手出しで活動している町内。そういう一覧表は過去あったような気がします。そうすると浜田市全体で……雲城はまちづくり推進委員会でこの問題解決のためにこういう項目で取り組んでいるということも分かるでしょうし、それについて交付金がいくらついて、どういう活動をしているかが分かると思うので、一覧表を資料として出していただければ、この地区は自分たちで問題意識を持ってやっている地区だな、これについてやっている所なんだな、ということが分かると思いますので、それを含めて資料を出していただきたいと思います。

芦谷委員

補足で、市のプロジェクトチームがそういうことをしているので、勢いそこというのは資料を作らないと話ができないので、多分そちらにお願いして作ってもらえば良いと思います。

もう一つ加えて言えば、自治区制度も31年には方向性を出すので、そうすると自治区に関する執行部の検討の素材にもなるので、是非その辺は執行部に汗をかいてもらいたいと思います。

西川委員

前回の委員会の時に配っていただいた、まちづくり交付金の実践事例集の中に、23団体の交付額とか内容とか一覧表ありますが、これでは足りないんですか。

布施副委員長

それと他の町内でやっている所も。これは公民館とか……。

西川委員

まちづくり推進委員会ですね。

布施副委員長

多分、他の町内もやっている所があるはずなんです。

川上委員

単独町内で。

布施副委員長

その情報というのが、私らが分からないんだよね。

川上委員

見てみてください。一覧表があるので。私も持っているから。

三浦委員

資料のお話が出たので。まちづくり推進委員会等が積極的にこういう活動を進めているという、活動指数とかランクAとかBとかCとか、有ると思うんです。でも市の行政の戦略として多分、今Bの所をAに上げていくのか、Aの所をA+に上げていくのか、全く何もしていないDをCにしていくのか、どこに力を入れてやっていくかで全体のまちづくりが進んでいるかどうか、多分戦略というか方向性があると思うんです。そうすると全体把握しないとその方向性は出せないと思うので。先般出していただいたのは、今実際まちづくり推進委員会が取り組んでいる資料だけなので、そうではないエリアで、例えば本当に単独町内で活動しているけれど、活動内容によっては広域でやることによってもう少し効果が大きくなる、だから隣の町内とやった方が良いのではないかとか、

だから広域連携を進めていくためにまちづくり協議会は今後どうするかとか、そういうことが出てくると思うので。先ほど布施さんがおっしゃったような、あの資料に出て来てない、全体把握するための資料があれば。あるんじゃないかと思うんですけど。もしいただけるなら拝見したい。

飛野委員長

貴重な意見が次から次に出てまいります。今日一部論議したく思っていました。まだ論議に入れたい状況ではないかと私は思っています。その中で、これ当初からこういうことも想定していたわけですが、今後回を重ねるうちに皆さんの意見を含めることによってできていくのではないかと私は確信しています。当面結局は自分たちがもっと勉強していく部分にあらうかと思っています。まちづくりであったり、自治区制度も出てきましたし、公民館もございますし、色んな広い範囲から云々になってくると思います。しかしながらそういうことを頭に置いて進めながら、先ほど言った6項目については、一応この6項目については優先して、できれば次の会議の時に具体的な論議をしていきたい。その中で先ほどからありました、新しい資料であったり色んな角度から見ることについても、それを付加しもって同じように並行してやっていきたいと思っています。そういう進め方でいきたいと私は思いますが、いかがでしょうか。

岡本委員

委員長は論議をしたいと言うけど、論議ではなくて資料請求の話ばかりに行っているの、実際は少し時間もあると思いますから、この3項目もしくは4項目について、地域の実態を発言して、その内容を皆で認識するのも大事だろうと思っているんですが、そういう意味で少し論議をさせていただきませんか。

飛野委員長

だからそれをできれば今日お持ち帰りいただいて、次の会にしたいと思います。論議に入ったら時間が中途半端になると思いますし、とりあえず次の会でこういうことを頭に置いて、今度議論したいと思います。

上野委員

昨日、和田地区のまちづくりの総会がありました。その中で事務局に若い人がおられて、その人は広島府中のマツダへ毎日通っておられるんです。すごくまちづくりに熱心な人で、地域の色んな課題を出して、消防団や地域におられる人に色んな役割を当てはめて、毎年それを検証しておられる。例えば独り暮らしの人が自宅周辺の草を刈って欲しい、手伝える人が何人いるか数字まで出して昨日報告があつて、皆がそれを嫌がりもせず、できる者が手伝うという話をしておられました。素晴らしいと思ったので、もし機会を与えてもらえたら、僕から声をかけてみますし、来ていただけるかはまだ分かりませんが、その方に一度、活動について話に来ていただいて皆さんに聞いてもらいたいと思います。

飛野委員長

良いことと思います。またそういう時間も取れたらと思っています。

川上委員

今の件については、なるべく早い方が良いです。

上野委員

聞いてみましょう。

飛野委員長

ではそのことも踏まえて、次の委員会で取り入れたいという方向で、

検討させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

布施副委員長

先ほどの資料請求は資料請求で良いんですが、今日のテーマは前回言ったように集落機能の維持対策についてもう少し、自分たちはこう思っているが住民は実際どう思っているのだろうか、ということ……雲城の例も出ました、和田の例も出ました。でも浜田の方はまちづくり推進委員会の取り組み事項は資料があるんですが、各町内の問題が一杯あって、表面には出てないけど多分、市の執行部には問題を抱えていることを示す資料があると思うんです。それを出してもらうことについては……多分あると思いますよ。前回、自治区制度の絡みで色々な問題が出た時に、それは各町内色々な問題が出たと思います。そういう問題でも良いんですが、それを出してもらうことによって浜田市全体の問題にもなるし、それが揃った時点でまた論議することも大事だと思います。ただ、今日はまだ時間があると思うので、それに対して色々な意見を出した方が。論議だったら皆さんが普段思っておられることとか、住民はこのように思っているんだけど、といったことを言った方が良いと思います。委員長どうですか。

芦谷委員

実際に関わってみて、質問もするんだけど、市役所の対応と現場とか……我々なんですよ。市役所は縦割りでやるけど現場は一本です。早く市役所の体制を一元化して、集落一つに連絡すればぱっと広がる感じにしないと、福祉にしても何にしてもなっているんで、そういったこともあるのと、地域住民側の高齢化が進んでいるとは思わないけど、なかなかその気になってもらうというのが非常に、どこの集落も苦しいと思うんですよね。地域のことや地域づくりについて向いてもらえない感じがあるなと思っています。市民の参加意識を高めるためにどうするかというのが課題かと思っています。

永見委員

正副委員長に、17項目の中から6項目選んでいただきましたが、地域によってかなり温度差というか、伝統芸能、祭り、地域文化の継続に関わるにしても、随分温度差があるのではないかと思います。その辺りから地域の実情をまず出していかないと、ただこの項目だけで議論といってもなかなかできないと思います。

飛野委員長

17項目全部やったら良いと思うんですが、とりあえずこの前ちょっと考えたのは、とりあえずこの6項目から先にやりたいと、このように提言させてもらって。温度差もあったり色々しますが、そういう形で進めていく中で並行して、プラスアルファを付け加えていく。6項目に限らず。そういう理解のもとで進めていかないと、なかなか前へ進まないと思っていますので。基本一応6項目、プラスはプラスしていくという考え方で進めていけたらと思います。どうでしょうか。

布施副委員長

小規模高齢化の資料3、住民アンケートを取ってみましょうということで、集落の人材とか自分たちの問題点を個数によって、これに該当する者については、この地域はこれが問題なんだということが分かるわけですよね。これ各町内の行政連絡員等にアンケート調査して、自分たち

の問題意識を持ってもらうということもできると思いますし。ああいうものを同じように進めながらやったらどうかという思いはあります。

今度の議会報告会の時に、テーマがない所については中山間地域について話し合いましょうということをしてリーダー会で多分決められたと思いますが、それを踏まえて、こういう問題意識を持っておられますかということをごちから反対に投げかけて、話ができるのではないかとおもうんですが。

芦谷委員

布施副委員長の今の提案は大変良いと思うが、市のプロジェクトチームの取り組みもあるので、この7月上旬というのを少し早めて、5月中旬くらいに市のプロジェクトチームの取り組みの考え方等を少し披歴してもらえば良いなど。アンケート等はむしろ執行部でやってもらった方が良いので。その辺は市の取り組みの方向性だけで良いから、報告してもらうことはできないでしょうか。

小川局長

それはもう提案の部類に入るとおもうんですよ。例えば先ほど言われた、市民の皆さんに動機付けをするためにこういうアンケートをした方がよいのではないかと、という提案をしてあげるパターンになっている。それを今の段階で提案の小出しとしても良いけど……。

岡本委員

実際、私個人としては論議をしたいわけですから、例えばこの前川上さんと話した時に、川上さん貴方の所では昔は田囃子等はされなかったのかと言ったら、昔はあった、皆あるという話をしました。多分、昔からの伝統は皆あったんだけど、これを削りあれを削り、ここだけ残っているんだということもあるのだろうと思う。そういう情報交換もあった方がよいし、例えば神社の維持管理という問題も、今は宮司が非常に不足していますよね。一人の宮司が三つも四つもやっているわけです。その宮司そのものも高齢化しているわけです。そうすると祭りという一つの大きなくくりの中でどれだけの人が集まるのかと言ったら、段々集まらなくなっているのが実態なんだね、と。そういう情報交換をしていかなないと、今、宮の話など言えば浜田にとってきめんです。牛尾宮司一人で三つも四つもやっています。多分奥は、さぎんかの山崎さんですか、あの辺がやっているはずですよ。そういう情報交換をとりあえずはやってみると、地域の荒廃の仕方とか、人が集まるコミュニティができなくなっている状態だろうと思うので、そういう論議はすべきだろうと私は思うのだけど、どうなのですかね、必要ないのか。あくまでデータを見てそのデータに基づくその辺の課題を見つけて、共通課題の中の例えば、ではこの委員会はそっちの方向にもう少し検討を加えていってテコ入れするという話に持っていくのか。

柳楽委員

とりあえず、まずは集落の維持についてをやろうということだと思っていたので。この間からすごく気になっていたのが、資料請求がすごく多くて、実情を知るのはすごく大事なことだと思うんですけど、それと並行して今言われたように、議員として自分たちの地域を見ている中でこういうことが大事なのではないかと、こういう所が不足しているの

ではないかという議論をやっていくのが大事なのではないのかなと、気になっています。

串崎委員
飛野委員長

次からされるそうです。

頭が混乱してきましたが。だいぶ時間も押してきましたが。先ほど議会報告会の話も出ました。議会報告会は折角の機会です。その場においてこの特別委員会がどうこうというのではなく、ここにおられるメンバーも各所に行かれると思いますので、どうか特別委員会の見地から意見を吸収して帰っていただいて、ここで発表していただきたいということを、私からもお願いしておきたいと思います。議会報告会を大いに活用していただいて結構です。地域課題もちょっとずつ見えてくるのではないかと思います。

論議どころか色んな面から積極的な意見が出てきて、その收拾に混乱していますが、一応今日の所として、その他皆さん、特に色々ありました。他にありませんか。

柳楽委員
飛野委員長

どの部分についてですか。

どの部分でも、一応これでとりあえず今回は締めたいと思います。全体について特に何か言いたいことがあれば。

柳楽委員

先ほど資料請求が、という話をした私が言うのも変なのですが、9番目の「集落再編」がありますよね。これに関しては町内会で何世帯でどれくらいの人口なのかもすごく関わってくると思うので、その部分は分かるものをいただけたらと思います。実際にお話を聞いたので、町内会で3世帯くらいしかなくて、草刈りをその中で町内会長さんが一人で背負っているという話なども聞いたことがあるので、そういった所は本当に再編は急がれることだと。もう再編されたかもしれないけど。

西川委員

先ほど私が言った、国交省の元データがあれば多分集落ごとに、何人から何人ですが、そういうデータは。

柳楽委員
西川委員

町内会ごとですか。

集落ごと。その集落単位がどの単位かちょっと分からないですが。どの単位で集落を考えるかの元になると思うので。

飛野委員長

データ浜田版の話にかかると思います。そういった部分も今から研究していきたいと思います。またそれを提示して、改めてご議論いただきたいと思います。

西川委員

次回から議論が色々深まると思います。先ほど上野さんがご提案された方に来ていただいたり。そうすると開始時間を30分でも1時間でも早くても、執行部がおられない会議は早くても良いかなと。

飛野委員長

貴重な意見をありがとうございます。皆さん今の、時間を早めようかという話。

川上委員

何時でも良い。

飛野委員長

とりあえず議題2については、論議まで入りませんでした。終わらせていただきます。

議題3. その他

飛野委員長

その他も先ほど言いましたように視察の話と議会報告会の話があります。次回の開催予定ですが、先ほどのスケジュールからいっても5月末くらいで、今度議会に入ってくるので、産業建設調査会が28日にあるんですが、その終了後という話も出ていますが皆さん日程調整はいかがでしょうか。できたらその日に。

(以下、日程調整について協議)

では25日金曜日、福祉環境調査会の後、基本は13時からとしておきますが、もし調査会が延びたらそれに従って延びる可能性があります。それでよろしいでしょうか。

(「はい」という声あり)

三浦委員

いただいた資料の作成委員会を見ると、江津の釜瀬さんがおられますよね。

(「あれどういう方」という声あり)

顧問が入っておられるので、近くなので、視察ではないですがこの中でもし、今後議論が進んで集落再編だとかいった所を……桜江の方でも今、江津も公民館を廃止してコミュニティセンター化を進めているので、あれを進める時に……。

(「江津は駄目だって」という声あり)

それが参考になるかどうかは別にして……。

川上委員

いや、いい参考になるかも。

三浦委員

なぜ駄目だったのか。これ入られているので、そのお話を聞いたりなど、近距離なので良いかなと思いました。

(「面識あるの」という声あり)

はい。

小川局長

今は何をやっておられるんですか。

三浦委員

今は顧問です。

小川局長

顧問ですか、江津の。

三浦委員

恐らく。やめておられなければ。

小川局長

23年頃に部長をやっておられたら、もう多分、退職しておられるか、おられないかくらいですね。

それと先ほどの旭の方、もし来てもらえるのなら次回呼んで話を聞きますか。

布施副委員長

時間が不確定でしょう。調査会が延長したらずっと待つていただくことになる。

飛野委員長

ポンとはめるから良いよ。

小川局長

そういう人の話を聞こうと思えば、できたら夜やってあげるとか、土日にやってあげるとかでしよう。そちらの方が良いですよ。

布施副委員長

開始時間がきちんと決まっているなら呼んでも失礼はないけど、調査

会終了次第となれば……。

小川局長

それは土曜か日曜に和田の公民館まで行って話を聞いてあげた方が。
(「それはその方が良い」という声多数あり)

川上委員

そうすれば和田公民館がいかに条件不利地か分かる。

小川局長

和田公民館は前の小学校から移転したんですか。

川上委員

そう。すごく広い。

小川局長

小学校は良く知っています。

飛野委員長

ではどうするの。

小川局長

それはちょっとまた別で、まず上野委員に話をしてもらって、土日くらいで都合の空いている日があればで、全員参加でなくても出られる人間が聞きに行つて話を聞くくらいで良いかもしれないし。

飛野委員長

上野さんご提案の意見は、上野さんをお願いしておきます。

上野委員

平日休んででも公民館に詰めて話をしますよと言われれば、またそれに合わせて。

小川局長

さすがに休みを取つてまでやってもらうのはちょっと。こちらから報酬が出せるわけでもないの。

飛野委員長

ではその件はそのように、上野委員よろしく申し上げます。

では以上で委員会を終了します。なかなか想定していたとおりには難しい部分もありますが、しっかりやっていきたいと思ひます。どうぞよろしく申し上げます。

(閉 議 11 時 58 分)

浜田市議会委員会条例第 65 条第 1 項の規定により委員会記録を作成する。

中山間地域振興特別委員会 委員長 飛 野 弘 二 ㊞